

## 消費者法の現状を検証し将来の在り方を考える有識者懇談会 ヒアリング一覧

開催日	ヒアリング対象者(※敬称略)	プレゼンテーマ
第1回 (8月 30 日)	新井紀子(国立情報学研究所教授)	AIを含む最新テクノロジーと消費者保護
	山本敬三(京都大学大学院法学研究科教授)	2022年消費者契約法改正と今後の課題
第2回 (9月 12 日)	駒村康平(慶應義塾大学経済学部教授(ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター長))	「加齢による認知機能の低下が経済活動に与える影響」～神経経済学および金融ジェロントロジーからの示唆～
	西田公昭(立正大学心理学部教授)	今後の消費者法について 社会心理学的視点からの意見
第3回 (9月 26 日)	長谷川敦士(株式会社コンセント代表取締役/武蔵野美術大学造形構想学部教授)	ダークパターン その構造と向き合い方
	河島茂生(青山学院大学コミュニティ人間科学部准教授)	デジタル社会における消費者
第4回 (10月 25 日)	中川丈久(神戸大学大学院法学研究科教授)	「骨太」な消費者法—包括力・救済力・打撃力
	大澤彩(法政大学法学部教授)	消費者法の「担い手」について—その意義および多様化—
第5回 (11月 1日)	西谷祐子(京都大学大学院法学研究科教授)	国際的な消費者保護の課題と展望
	カライスコス アントニオス(京都大学大学院法学研究科准教授)	EU消費者法から見る日本のこれからの消費者法
第6回 (11月 22 日)	宍戸常寿(東京大学大学院法学政治学研究科教授)	憲法・情報法からの話題提供
	河上正二(東京大学名誉教授、青山学院大学客員教授)	消費者法の展開と課題
第7回 (12月 26 日)	成本迅(京都府立医科大学大学院医学研究科教授)	認知症のある消費者の現状と今後の対応について
	有賀敦紀(中央大学文学部教授)	消費者法に対する認知心理学的視点からの意見
第8回 (12月 27 日)	高巣(明治大学経営学部特任教授)	経営学・企業倫理という視点より
	小林佳世子(南山大学経済学部准教授)	消費者保護へ向けて～ヒトのもつ認知の傾向から
第9回 (1月 12 日)	新井泰弘(高知大学教育研究部准教授)	望ましくない取引のキャンセルについて
	西内康人(京都大学大学院法学研究科准教授)	消費者法の発展的課題
第10回 (1月 26 日)	山本隆司(東京大学大学院法学政治学研究科教授)	消費者法における制度または手法のミックス
	丸山絵美子(慶應義塾大学法学部教授)	消費者法の作り方を考える—介入の分岐点、権限分配、規範設計